

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	博多駅前二丁目複合ビル新築	階数	地上14階、地下1階塔屋1階
建設地	福岡市博多駅前二丁目172番地	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	476 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、飲食店、ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2019年7月25日
敷地面積	1,590 m ²	作成者	橋本 武
建築面積	1,052 m ²	確認日	2019年7月30日
延床面積	15,298 m ²	確認者	大野芳俊



ださい

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 86%
③上記+②以外の 86%
④上記+ 86%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 4
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.1

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 博多まちづくりガイドラインに計画を行い、環境に配慮した設計を行うことにより、敷地内外の環境に対して標準的な計画が行われた計画としている。	その他 特に無し	
Q1 室内環境 T2以上の遮音性能サッシを使用している。 JIS規格F☆☆☆☆建材をほぼ全面に使用し、シックハウス対策に配慮した計画としている。 喫煙ブースを設置している。	Q2 サービス性能 インテリアパース等により内装計画を設計。 制震壁を設置し、耐震性を確保している。	Q3 室外環境(敷地内) 博多まちづくりガイドラインに沿った建物高さ形状等町並みに配慮した計画としている。 植栽により良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー 特に無し	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材を容易に分離可能な工法を採用している。	LR3 敷地外環境 特に無し

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される